

館長室へようこそ⑱

アーユボーワン

図書館長 古川 聡

アーユボーワンとは、スリランカで用いられている挨拶の言葉で、初対面の挨拶でも日常的なあいさつでもいつでも使え、両手を合わせて祈るしぐさとともに言う。「長生きしてください」、「命を大事にしてください」という意味がある。音だけではなく意味も何と優しい言葉であろうか。そのスリランカに行ってきた。スリランカは、仏教が発展した国で多くの世界文化遺産がある。頂上にかつては王宮があった高さ二百メートルほどの岩山、シギリヤロックもある。頂上からは、ヤシの木やバナナの木に覆い尽くされた緑の大地が地平線まで広がっているのが見えた。

庶民の生活をガイドに尋ねると、小さな湖の岸辺で過ごすある農家に連れていってくれた。藁葺きの質素な屋根の下で家族四人が生活をしており、一緒にナンを焼き、手作りのカレーをごちそうになり、話をしてきた。水道も電気もなくランブだけ、トイレも湖で済ませる。野生の象に襲われないように夜は木の上に造った家で寝るなど、想像できない日常が広がっていた。だが、彼らの表情はみな優しく、たんなる旅行者である私たちを心から歓迎してくれた。スリランカと言うと、かつてのセイロンという国名からもわかるように、紅茶の国というイメージがある。だが、それ以上に私たち日本人にとっては重要な国といえる。戦後、サンフランシスコ講和会議において日本の分割統治が決まりかけた時、スリランカの大臣で後に大統領になったジャワワルダナ氏が反対し、「怒りは怒りによつてではなく慈悲の心でのみ消し去ることができる」、「自由にしてかつ独立した日本の復活を求めると欧米の大臣に向けて説いたのである。そして今の日本がある。これまでスリランカ人の日本への思いを知らなかったことを、私は今恥じている。スリランカのみなさん、改めて「アーユボーワン」。

図書館のう・ご・き……………耐震改修工事報告④

◆冬休み明けに3階、4階がリニューアルオープン!

1～2階は2015年12月23日から約1年間立ち入り禁止に。

着々と耐震改修工事が進む4号館。いよいよ冬休み明けに3階と4階が先行オープンします。3階は参考図書を中心とした開架閲覧室、4階はAV視聴フロアです。一方、長年にわたり親しまれてきた現図書館(1～2階)は、12月23日から約1年間、工事のため立ち入り禁止となります。現1階は楽器学資料館に、2階は新しい図書館のメインフロアとして生まれ変わります。

◆これに伴い、3号館側階段が仮入口となります。メインカウンターも3階に。

詳細は図書館HPや掲示でご案内します!

この工事に伴い、図書館正面入口は閉鎖され、3号館側階段が仮の出入口となります。貸出・返却を行うメインカウンターも、3階に仮設置します。しばらくの間は、図書館スペースが狭くなりますが、明るくきれいになったスペースを楽しんでください。なお、書庫は工事をしませんので、1～2階の工事中も資料の貸出には影響ありません。ご安心を!